



## 不透明な先行きですが、トライ&チャレンジで

帝京大学小学校校長 石井 卓之

東京都では日々100名以上の感染者が出ており、全国的にも感染者数の増加が止まらないなど、依然として予断を許さない状況が続いています。政府の専門家会議は、人と人の接触機会を8割削減するテレワークを引き続き徹底すべきとの提言を行いました。また、富山県では、学校においてクラスターが発生したとの報道もありました。

本校では、5月7日(木)の始業式、9日(土)の入学式に向けて準備を進めていきましたが、この状況を踏まえて、以下の通りの対応としていきます。

### ○ 授業の開始を6月1日(月)とします。

4月25日(土)、26日(日)から始まるウェブでの学年ホームルームを充実させていきます。25日、26日の両日は、各学年、最初の30分で学校とつながっているかどうかの確認をしていきます。経験のあるご家庭は不安がないと思いますが、初めて取り組むご家庭には分からないことが多いと思います。そのために電話を3回線用意し、ご質問に答えながら開始時刻を迎えます。なお、当日のお子様の服装は、普段着でかまいません。また、これまで実施していた担任からご家庭への電話連絡は終了し、学年ホームルームにその機能を移行させていきます。

在宅勤務や学校の休校が増えている関係で、PC機器が購入しづらかったり、ネットワーク環境の整備の予約に時間がかかっていたりしていることもありますので、個々のご家庭への対応も必要に応じて考慮してまいります。

今後は、さらに時間割を決めて各教科の授業を段階的に行っていきます。新たな取組のため、始めからうまくいかないことも数多くあると思いますが、ご家庭と連携を図りながら一つ一つ問題を解決して前に進みたいと考えています。

### ○ 1学期の終業日を7月31日(金)とします。

多摩市には、7月30日まで給食を提供してほしいと要望しています。授業日数を確保しながら学力を保証していきます。

### ○ 入学式をオンラインで5月9日(土)に実施します。

ウェブでの学年ホームルームの手法を活かしながら、5月9日に入学式をオンラインで行います。実際の入学式のような実感はもちにくいですが、1年生が帝京大学小学校に入学したという一つの区切りとなればと思います。

感染者数が減少し、5月6日までとした政府の緊急事態宣言が解除される、そんな状況となれば学校の方針はすぐに変えていきます。しかし、最悪の状況を想定しながらも、よりよい学校再開への道筋を常に考え、トライ&チャレンジの精神で取り組みを進めてまいります。



## 新任のご挨拶

4月に着任しました、山口直美です。色とりどりの自然に囲まれ、樹の香りが校舎内にいつまでも漂う帝京大学小学校に、早くも感動しています。この素敵な環境の下で、子どもたちと共に過ごす毎日を、とても楽しみにしています。

私の日々の目標は、「一生、学ぶ。」です。以前の学校で、子どもたちにこの話をしたら、「大人も勉強することがあるの?」と聞かれました。子どもならではの思考だと感じ、また子どもの目線に立つ、近づく、ということを意識した瞬間でした。

子どもたちと一緒にたくさんのことを学んで、自分自身も成長したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

<教諭 山口 直美>

4月に着任いたしました、山田晋作と申します。これまで、武蔵野市、八丈島、国立市など、東京都の様々な地域の小学校で指導に当たって参りました。

このところ、よく思い出すエピソードがあります。八丈島には、少子化による学校の統廃合が進む地域があります。その地区では、僅か3名の児童が渡る横断歩道を毎朝7、8人の大人で見守っています。見守りをしてくださっている地域の方々はいつも「地域から子どもの声が聞こえなくなるというのは本当に寂しいことだよ。」と話してくださいました。改めて、子供は地域の宝であるということを実感したのを覚えています。

今日の社会情勢によって、朝夕に登下校する児童の姿が見られない日々が続いています。少しでも早く、スクールバスからたくさんの笑顔とともに帝小の子供たちの姿が見られることを、大きなあいさつとともに校舎に入る子供たちの姿が見られることを心待ちにしております。

<教諭 山田 晋作>

「あと一步でプロ野球選手」まで上り詰めた教え子がいます。無名の公立高校出身です。彼は私学の強豪校との練習試合でプロ注目の投手から本塁打を放ち、チャンスを得ました。

彼の小学生時代を一言でいえば「素直」です。ずば抜けた運動能力があったわけではなく、話を聴き、誰に対しても優しく、前向きに野球以外のことにも全力で取り組んでいました。

ご挨拶が遅れましたが、6年生を担任させていただくことになりました。進学の前にある目標の実現も視野に入れ、子どもたちが持つ能力と可能性を引き出せるよう、教師としての自覚と責任を持って指導していきます。どうぞよろしくお願い致します。

子どもたちと共に帝京大学小学校で過ごす時間をとても楽しみにしています。

<教諭 田熊 圭>

窓から見えるはずの当たり前の風景(元気に走り回っている子どもたちの姿)が見えなくなってから、すでに二か月が過ぎようとしています。この当たり前の風景が一日でも早く再会できることを祈りながら、最高のおもてなし(授業)をするために、体育授業としては大きな障害となる次の三点の克服を目指して準備を進めています。

①お互いの両手距離感覚の徹底 ②向き合って言葉かけをしない ③手を取り合って助け合わない

3密対策を施した活動においても、夢中になって体を動かす授業・爽やかな表情で終える授業を実現します。元気な声を張り上げて夢を追いかけまわす子どもたちを私選する、体育専科の中村敏雄です。よろしくお願い致します。<教諭 中村 敏雄>

4月より帝京大学小学校に参りました中島駿です。私は学生時代に行った教育実習を通して、授業を行うにも担任としてクラスと関わっていくにも全ての根底にあるのは子ども一人一人をしっかりと理解することだと学びました。

まずは子どもに寄り添い、日々の関わりの中で信頼関係を築いていきます。そして、子どもたちそれぞれの個性を生かした学級を作っていきたいと考えています。子どもの日々の素朴な疑問や小さな気づきなども授業に取り入れながら主体的に学んでいけるよう子どもたちを支援していくとともに、私自身も教師として学び続けていきます。どうぞよろしくお願い致します。

<教諭 中島 駿>

本年度より帝京大学小学校の教員になりました、3・4年生の理科を担当させていただく田中聡真です。帝京大学小学校にはプラネタリウムやピオトープといった理科の授業を充実させるための施設が多く、授業で活用するのを楽しみにしています。

今年は新型コロナウイルスの影響でなかなか授業が始められない状況が続いていますが、早く皆さんと勉強できるよう観察や実験の準備をしています。どうぞよろしくお願い致します。

<教諭 田中 聡真>

はじめまして、スクールカウンセラーの鈴木麻里と申します。今年度より毎週火曜日に来校することとなりました。

これまで、教育・医療・福祉の現場で臨床心理士・公認心理師として様々な年代の方とお会いし、その方々の人生の一端に関わらせていただくことの難しさと喜びを実感してまいりました。今は、帝京大学小学校で過ごす時間を想像し、とてもワクワクしながら開室の準備をしているところです。

お子様の対人関係や発達面、学習面、その他気になっていることなど、どのような内容でも構いません。皆様と一緒に問題と向き合い、少しでも明るい道が見えるようお手伝いをしたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

<スクールカウンセラー 鈴木 麻里>